



# 考古学から社会を読み解く： 過去・現在・未来

九州大学大学院  
比較社会文化研究院・教授  
世界考古学会議 (WAC) 会長  
講師 溝口 孝司 氏

2019年

2月16日(土) 開演15:00 (開場14:30)

会場：東京経済大学 国分寺キャンパス 2号館B301教室

参加費：無料  
※未就学児は入場不可。

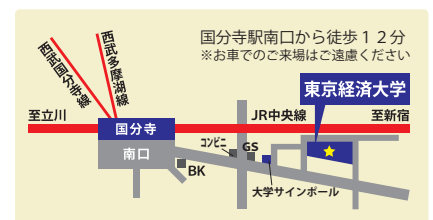
申込方法：事前申込制。裏面の申込用紙にご記入の上、FAXまたは郵便でお送りください。  
また、本学ウェブサイトからもお申しいただけます。(電話では受け付けておりません)

申込締切：2019年2月12日(火)  
※ただし、定員に達し次第、申込受付は終了となります。

定員：先着400名 ※申込順に予約券を発送いたします。

主催：東京経済大学・大倉喜八郎記念東京経済大学学術芸術振興会

【国分寺駅からのアクセス】



東京経済大学

## ■講演概要

考古学は人と人、人と物、人と環境との関わりとそれらの変化について、遺されたさまざまな物的痕跡から研究する学問です。人は物を作り、物に助けられながら社会生活を営んできました。考古学的資料には、様々な社会的・自然的条件のもとで、人が生きるためにおこった思考や行動の痕跡が刻まれています。どのような社会や環境のもとで、人がどのように生きたかを工夫を凝らして明らかにすれば、今を生きる私たちの思考や行動に活かすことのできる多くのことを引き出すことが可能です。講演では、考古学を通じて過去を読み解き、現在と未来に活かす術について、具体的な事例を用いつつ考えてみたいと思います。

## ■講師プロフィール



九州大学大学院比較社会文化研究院・教授  
世界考古学会議(WAC)会長

### 溝口 孝司

(みぞぐち・こうじ)

1963年生まれ。ケンブリッジ大学博士課程修了(Ph.D.)。

専攻は理論考古学・社会考古学。

事例研究のテーマは葬送行為、物質文化と社会構造、考古学と現代社会。カバーする地域・時代は主に日本弥生時代、ヨーロッパ新石器・青銅器時代。現代社会の中で考古学が果たす役割を追求する「社会考古学」を提唱・実践している。

下記申込用紙に必要事項をご記入の上、FAXまたは郵便でお送りください。  
本学ウェブサイトからもお申込いただけます。(※電話では受け付けておりません)

お申込先

東京経済大学 広報課

〒185-8502 東京都国分寺市南町1-7-34

FAX 042-328-7768

WEB <https://www.tku.ac.jp/>

申込締切: 2019年2月12日(火) 必着

## 溝口 孝司 氏 講演会 申込用紙

住所 〒 都 道 市 区  
府 県 町 村

(0216)

フリガナ  
氏名

電話番号

参加人数(会員含む)

名 (うち学生・生徒・児童)  
→ 名

FAX 番号

■該当する区分にチェック✓を入れて下さい

大倉正会員・一般会員

本学・他学学生 / 生徒 / 児童  本学卒業生

本学・他学教職員  市民・その他

■以下をご希望の場合はチェック✓を入れて下さい。

★今後、大倉記念学芸振興会の企画イベントの案内送付→

★大倉記念学芸振興会の加入案内の送付→

※ご記入いただいた個人情報、大倉記念学芸振興会に関する連絡、その他大学からのご案内以外には使用いたしません。